

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県 揖斐川町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
4	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT・FIP適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和19年4月4日 下辻南清流発電所	令和19年4月4日 下辻南清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力ミライズ（株）、中部電力パワージェット（株）	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H30	R01	R02	R03	R04
水力発電	537	1,018	1,133	1,252	1,260
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	537	1,018	1,133	1,252	1,260

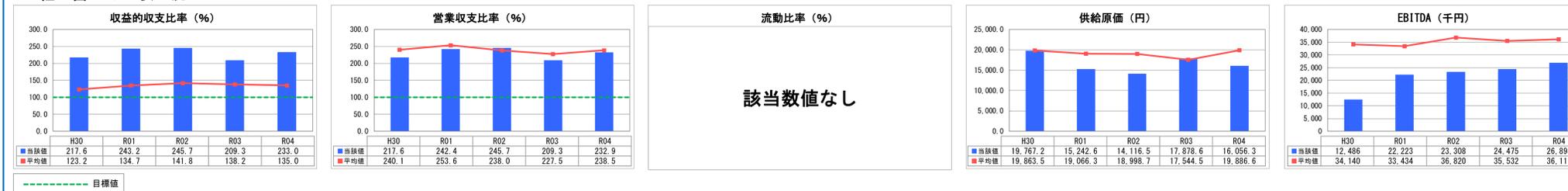
	FIT・FIP以外	FIT・FIP	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	42,839	42,839

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
基金への積立の有無…有	
目的：小水力発電事業基金への組入れ	23,900千円
一般会計への繰出しの有無…無	
その他の有無…有	
目的：農業集落排水事業特別会計への繰出し	8,658千円
電気事業により生じた利益は、将来の施設更新に充てるための小水力発電事業基金に積み立てることを基本としている。積み立てた後、なお残額がある場合には、農業集落排水事業特別会計へ繰出し、維持管理等に活用することとしている。今後も事業運営に必要な財源を確保しつつ、地域還元できるよう努める方針としている。	

分析欄

1. 経営の状況について
収益的収支比率は100%を超えているため、総収入によって総費用を賅えており、経営の健全性は保たれている。営業収支比率についても、収益的収支比率と同じく100%以上を維持できており、今後の運営経費などへ充てるための積立や他会計への繰出も行っている。
販売電力量1MWh当たりにかかる費用を表す供給原価については前年度に比べ多少減っているが、収益性を表すEBITDAについては前年度より増えているので、経営状況は良好である。

1. 経営の状況

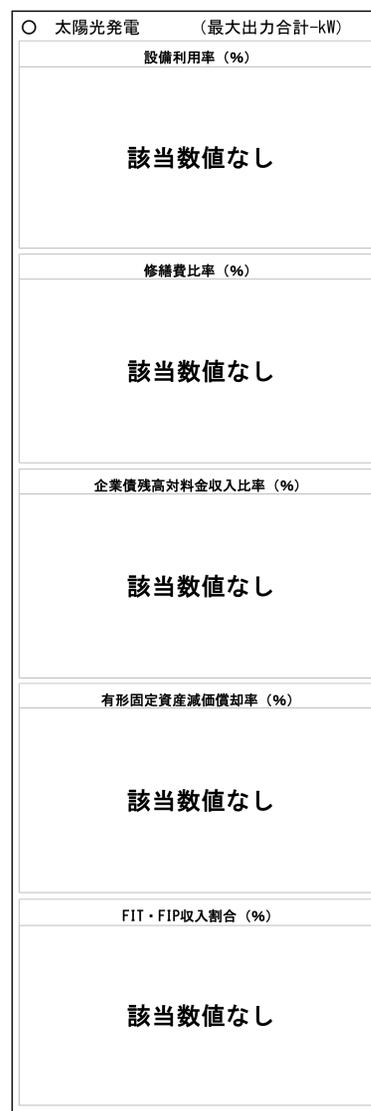
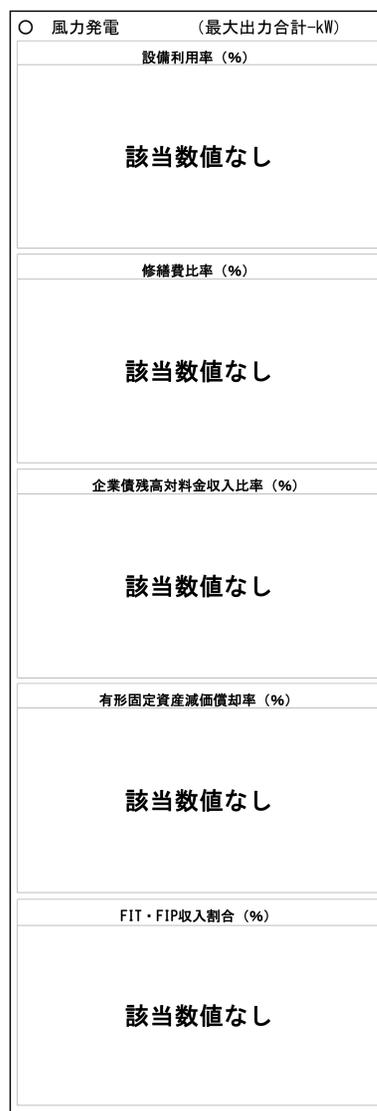
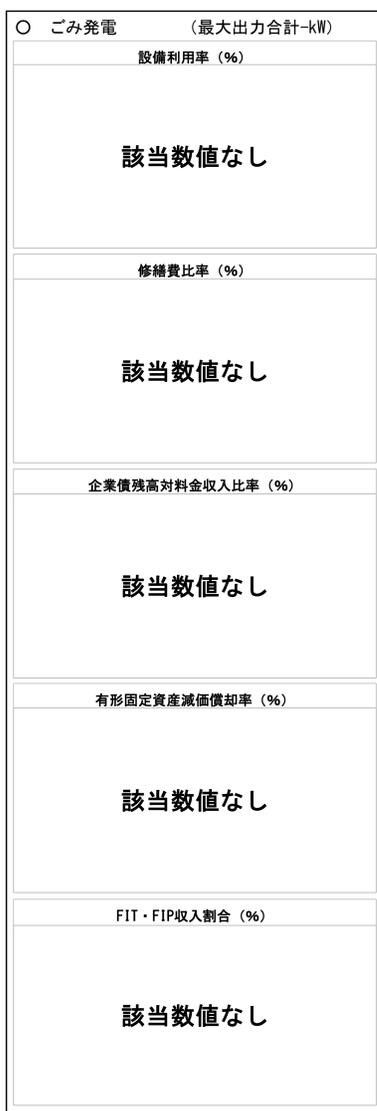


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

昨年度より発電量が増えたことで利用率が上昇し、全国平均を上回る数値となっている。水量や天気に影響されるが、少しずつでも改善していくよう努める。
企業債残高対料金収入比率については、企業債が無いため数値が「0」となっている。FIT収入割合は100%となっており、4施設すべての売電を固定買取価格で行っている。

全体総括

経営的には収益的収支比率も100%以上を維持し、積立や他会計への繰出も行いながら、健全性を保っている。
施設稼働からまだ数年であり、今後管理経費や修繕費などが大きくなると予想されるため、積立金などを計画的に行う。
FIT収入割合が100%のため、固定買取期間終了後の収入減に備え、最も有効な手法を検討していく。また、安定的に事業継続ができるよう経営戦略「揖斐川町電気事業経営戦略」（令和3年3月策定）に基づき、計画的な経営に努めていく。

※ 平成30年度から令和4年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和4年度の団体数を基に平均値を算出しています。